

保育おおさか

No. 424

平成 22 年 12 月 1 日

発行人 永野 治男 編集人 齊藤 和正

大阪府中央区中寺 1 丁目 1-54

TEL.06-6762-9001 FAX.06-6768-2426

http://www.ans.co.jp/u/osakahtoiku/



「制度改革は社会福祉の観点を大切に」

参加者から切実な声

子ども・子育て新システムに関する意見交換会

11月5日、大阪社会福祉指導センターで「子ども・子育て新システムに関する意見交換会」(保育部会主催)が開催されました。164人が参加し、新システムについての説明や質疑応答、意見交換が行われました。

まず最初に、厚生労働省雇用均等・児童家庭局保育課の森田博通課長補佐から、国で議論されている「子ども・子育て新システムの基本制度案要綱」についての説明がありました。

新システムでは、幼稚園・保育所の一体化、財源の一元化、多様な保育サービスの提供などが検討されており、幼稚園と保育所の一体化では、幼稚園・保育所・認定こども園を「こども園(仮称)」に一体化する方向で議論。それに伴い、幼稚園教育要領と保育所保育指針を統合した「こども指針(仮称)」の創設が検討されています。新たな指針について森田氏は「指針が改定されたばかりなので、現在の指針と整合性をとりながら必要な調整はしていきたい」と説明。

説明する森田博通氏と真剣に聞き入る参加者

財源の一元化については、国、地方、事業主、個人による費用負担を求め、国のレベルで「子ども・子育て勘定(仮称)」に財源を一本化し、市町村に対して子ども・子育て施策に当てることを義務付けた包括交付金の仕組みが検討されています。

多様な保育サービスの提供では、「小規模サービス」や「短時間利用者向けサービス」などが検討され、サービス類型ごとに事業者を指

定することが考えられています。この指定制は、株式会社やNPOなど多様な主体の参入を促進することも含まれています。安易な参入・撤退や事業者間の過度な競争が危惧される中、森田氏は「入口(参入)と出口(撤退)の部分で必要な規制をかけていきたい。過度な競争が起こらないよう、需給調整は市町村が責任をもって考えていく仕組みとする」と説明しました。

説明後の意見交換で参加者から「検討会での意見はバラバラ。短期間の検討の中で、社会福祉の考え方がないがしろにされないようにしてほしい」「政治主導での検討となっているため、福祉の考え方が薄い」など、制度改革にあたっては社会福祉の観点を大切にしたいという切実な声があがりました。

森田氏は「十分な時間はないと認識しているが、厚生労働省として福祉の観点をもって精一杯意見を述べていきたい」と回答されました。

国は、子ども・子育て新システム検討会議のもとに作業グループを設置し検討。さらに保育園や幼稚園関係者、学識経験者などで構成される3つのワーキングチーム(基本制度・幼保一体化(こども指針)が置かれ、新システムの具体的な内容が議論されています。今後さらにワーキングチームで詳細が議論されます。



12月になると街のあちこちからイルミネーションが点灯し、街を彩りはじめます。ロマンチック部・副部長の私にとって一年で一番心ときめく時期です。

子どもたちにとってクリスマスとは、何といってもサンタクロースからのプレゼント。私が小さい頃、煙突もないこの家のどこから入ってくるのかと考えただけで、ドキドキして眠れなかったことを覚えています。

毎年12月25日の朝、目覚めると枕元にはプレゼントがあり、それがすぐには使えないお正月用のパジャマであっても袋を抱きしめて喜んだものです。

我が家の三姉妹にも、サンタ歴22年のパパサンタがやってきます。大きくなるにつれて寝る時間が遅くなり、主人と二人目覚ましをセットし、子どもたちがぐっすり眠っていることを確認して今年の任務終了。

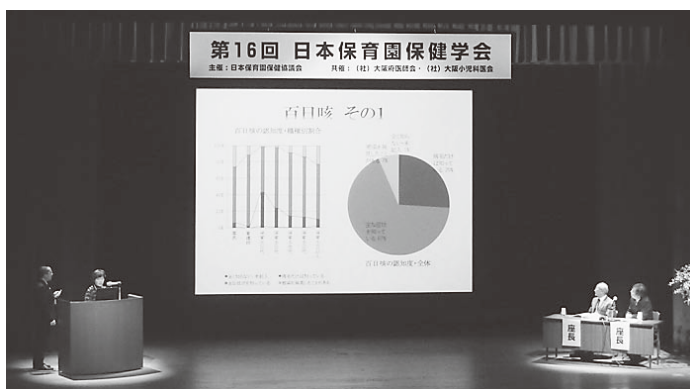
25日の朝早く、子どもたちがどんなに喜んでいるかとおくしくしながらベッドから出ようとする私の枕元にもサンタクロースが…。イブの夜、サンタクロースは忙しい…。(編集委員M.S)

日本保育園保健学会

子どもをはぐくむ保育の力 現場に役立つ赤ちゃんの秘密

第16回日本保育園保健学会が、10月30・31日、大阪大学コンベンションセンターで開催されました。

基調講演「発達障がい」の科学的理解を目指して」で谷池雅子教授（大阪大学・金沢大学・浜松医科大学連合小児発達学研究所）が、



基調講演をされる谷池雅子教授

「広汎性発達障がい」「自閉症スペクトラム（障がい）」を専門的な立場から発表されました。現在では、認知が高まった広汎性発達障がいですが、アメリカの最新の調査によると、110人に1人が広汎性発達障がい、そのうち4.5対1で男児が多いこと、男児に限ると70人に1人であるとの報告がありました。

より良い支援のための研究の方向性として、①早期発見・早期介入、②個々の発達障がい児の客観的な評価、③生活環境の整備（正しい睡眠

習慣）、④医学的治療法の開発、⑤養育者に合わせた支援が必要とあり、臨床と研究の両面で難しい内容でしたが、特に広汎性発達障がい児の養育者には良く似

た特性が見られることが多いという興味深い発表もありました。

ランチョンセミナーでは三つのテーマに分かれ、昼食をとりながら講座を受け

（編集委員M・H）

行政と各保育園が両輪となり 変革の時代を切り開く

（交野市・門真市・西條巖市・大東市・市・寝屋川市・枚方市・守口市）



亀井信昭会長

11月7日、大東市立総合文化センター「サティホール」で開催。1200人が参加しました。開会に先立ち、初代会長・寸土暁先生、三代目会長・濱田晋先生ら物故会員の功績を讃え黙祷を捧げたあと、現会長・亀井信昭先生から「本日の創立30周年記念事業は、一つの通過点、50年、60年と続く北大阪ブロック会の組織力を維持・発展させ、引き続き強固な組織力とお互いが高めあう環境によって変革の時代を共に切り開いていきたい」と本事業の意義を力

強く述べました。来賓の岡本日出士大東市長ほか6市市長、田中進大府福祉部子ども室長、酒井喜正大社協常務理事、永野治男大社協保育部会長から心温まる祝辞があり、全来賓・主催者の紹介後、北大阪ブロック会の温故知新の想いを込めて作成された手づくりDVD「30年のあゆみ」が上映され、未来への強い決意を感じさせられました。

第2部では劇団四季のミュージカル『エルコスの祈り』を観賞しました。ロボット「エルコス」が、夢や希望、笑うことさえ忘れ

てしまった子どもたちの心をひらき、仲間の大切さ、人を思いやる素晴らしさを教えていきます。やさしい温もりに満たされると同時に、私たち保育に携わる者は、人間として大切にしなければいけないことを子どもたちに伝えていく必要性を改めて感じました。



大いに盛り上がるピンゴゲーム大会

（編集委員M・S）



劇団四季のみなさんと

開いていきたい」と熱のこもった挨拶があり、全国経営協会長の高岡國士先生から「保育制度改革が続く中、ブロックの役割がますます大きくなる。今後さらに飛躍し、自らの力で地域で選ばれる保育園に創って欲しい」と激励がありました。その後、「北大阪ブロック会にまつわるピンゴゲーム大会」で参加者一同大いに盛り上がり

食事・睡眠・遊びの質を大切に

東大阪市 どんぐり保育園



剣玉名人に教わる



地元老人会を招いてエイサーを披露

ど んぐり保育園は、待
機児童の父母たちの
手によって30年来守られ
きたプレハブ園舎のまま、
2001年に認可されまし
た。

当初は3歳未満児保育を
行っていたため、3歳児に
なると再び待機児童になり
それを見かねたOBたちの
呼びかけで、2004年に
現在の園舎（60人定員）が
生まれました。国の予算が
つかず、日本財団の助成や
多くの個人からの寄付によ
りつくられました。「子ど
もたちに最善のものを」と
設計にも多くの人が関わ
り、手作り家具や備品が寄
せられ、「木の香に包まれ、
珪藻土の壁や竹の床に守ら
れた心地よい空間が実現し

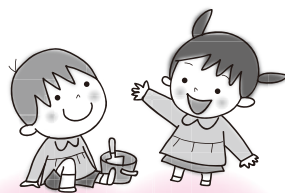
太陽光発電装置や地下埋設の雨水タンク、手作りのビオトープなど、小さな宝箱のように『善きもの』を詰め込むことができた」と園長先生は話されます。

その思いは保育の中に引き継がれ、食事と睡眠と遊び、それぞれの質を大切にしたい。素材にこだわっています。素朴な保育が続けられています。素晴らしい食事と、病欠率の低さが自慢だそうです。

できるだけ自然と伝統的な生活文化の中で子どもたちを育てたいと、年間を通じて生駒山登山や千早赤阪村での田んぼづくりにとりくみ、年長での金剛山頂キャンプにつなげておられます。

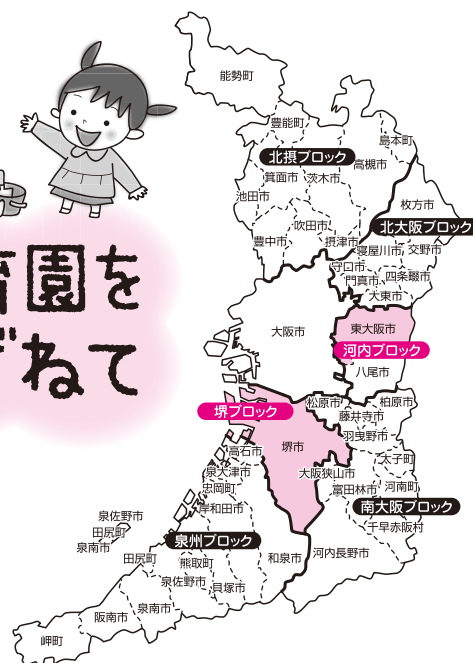
の微生物洗剤や木製遊具、
 ぞうりはきなど、ユニーク
 なものがたくさん。地元の
 老人会とも仲良くしてい
 だし、毎年コマや剣玉、お
 はじき、お手玉なども教え
 てもらい、みんな得意にな
 るそうです。

(編集委員 Y・N)



保育園を
たずねて

417



堺

堺 市西区のサン・福泉
保育園は公立保育所
の民間移管を受け平成16年
社会福祉法人を設立、園舎
を建設し定員150人で開
園しました。

燦々とふりそそぐ太陽を浴び、広い園庭でのびのびと生活できる環境です。」

人ひとりを大切に」「あかるく、やさしく、たくましく」を保育のねらいとしています。温かい家庭のぬくもりを感じ、安心して生活できる環境を整え、心豊かに元気に育ってくれることを願い、愛情と夢いっぱい

の保育を丁寧に進められて

います。

保護者会との連携・意思疎通も和気あいあいの日々。運動会・餅つき・お楽しみ会などの行事では協力体制がしっかりとされています。

縦割り保育にも力をいれておられ、幼児縦割りは毎月実施。子どもたちの楽しみの一つでもある2歳・5歳間の食育交流では成果をあげています。

スペシャルプログラムとして、歌やリトミック・ハンドベルの音楽、さをり織り、数や文字遊びがありま

す。保育士の特技を生かし展開しています。もちろん、特別料金は徴収していません。

5歳児にとって就学に向



広い園庭で元気に遊ぶ

さんさん
 燦々太陽ふりそそぐ
 広い園庭でのびのび

保育士の特技生かす
スペシャルプログラム

堺市 サン・福泉保育園

にされています。

地域との交流も深めており、園児が育てた朝顔やチューリップを校区福祉委員会の子育て支援活動の参加者にプレゼントしたり、グループホームなどに敬老のお祝いを目的に訪問したりする活動を進めておられるそうです。

2年前からJR阪和線鳳駅近くに乳児30人定員の分園を開設し、待機児童解消に寄与されています。

(編集委員 K・M)

秋の叙勲

よき先輩、職員、保護者、
地域に支えられた賜物



瑞宝単光章



水野 妙子氏
(西信達保育園)

この度、はからずも秋の叙勲に際しまして瑞宝単光章の栄に浴し、身に余る光栄に感謝しております。これもひとえに皆さま方

の温かいご指導・ご支援の賜と誠にありがたく心から御礼申し上げます。顧みますと昭和三十一年から五十数年、この道一筋に従事できたことは、健康もさることながら、よき先輩、めぐまれた職員、保護者、地域の方たちに支えられて専念できたものと思っています。

受章の報告を聞いた園児が「えんちゃんせんせい！金メダルもらっておめでとう！」と言ってくれたことに感激し「ありがとう。みんなの元気一杯のパワーをもらってご褒美をいただきました」と返答。受章に恥じない保育者として、子どもたちの憧れの金メダルをピカピカに輝くよう精進していきます。

各種表彰受賞者 (順不同・敬称略)

全国社会福祉協議会
会長表彰 (功労)

8人

三角 眞理 (たんぼ愛護保育園)
大西 好美 (もみのき保育園)
菅谷 信江 (牧野保育園)
西邨理恵子 (石津保育園)
川崎 珠紀 (青葉学園)
杉本万貴子 (新望保育園)
藤原 康子 (さくら保育園)
橋本 良孝 (池上わかば保育園)

全国社会福祉協議会
会長表彰 (永年勤続)

47人

白崎香代子 (さくらんぼ保育園)
小池みどり (下田部保育園)
伊是名勝子 (瀬川保育園)
中村 金一 (たまい保育園)
中埜 玲子 (一津屋愛育園)
佐藤 厚子 (ひむろく保育園)
横山真理子 (あすなろ保育園)
田端 一郎 (エルミン保育園)
舟木 明美 (中振敬愛保育所)
奥野由美子 (茄子作保育園)
小山 宏永 (茄子作保育園)
林 京子 (樋之上保育園)
田丸 恵美 (星田保育園)
杉生佳世子 (愛保育園)
巽 順子 (稲田保育所)
田中 弘子 (さくら保育園)
西 由貴子 (玉串保育園)
湯佐恵美子 (玉串保育園)

長谷川寿美子 (玉串保育園)
山本 和美 (玉串保育園)
片野 和美 (玉串保育園)
中島 淑子 (大野台保育園)
宮武美代子 (大野台保育園)
森 俊子 (大野台保育園)
石川 修一 (北阪保育園)
大道 千春 (常德保育園)
上村 智子 (常德保育園)
玉置さと子 (惣社保育園)
中西 郁子 (大典保育園)
多田美由紀 (高鷲保育園)
木村 幸枝 (高鷲保育園)
森 義順 (やわらぎ保育園)
門谷 賢子 (陽気保育園)
射手矢幹子 (あおい保育園)
中塚 六朗 (海塚保育所)
山下ヨウ子 (海塚保育所)
阪口 宏子 (海塚保育所)
田中 栄子 (天神山保育園)
坂上 仁美 (西信達保育園)

全国保育協議会
会長表彰

12人

真栄田初子 (ハルティ道教寺)
堤 美恵子 (ピアニー道教寺)
河村 道子 (ひさほ保育園)
河村 憲亮 (ひさほ保育園)
肥田 美雪 (脇浜保育園)
河西 良雄 (日吉台保育園)
坂本 玉器 (津江さくら保育園)
明杉恵理子 (池田保育園)
奥野由美子 (茄子作保育園)
菅谷 信江 (牧野保育園)
伊東美恵子 (あいせん保育園)
中西 郁子 (大典保育園)
藤井 昭子 (みずほ保育園)
志摩 拓郎 (堺東保育園)
浅尾 彰人 (八田荘保育園)
真栄田初子 (ハルティ道教寺)
田中 栄子 (天神山保育園)

スマイルサポーター養成研修 126人が修了

吹田市でPRパネル展示も

● 地域貢献事業推進委員会 ●

◆10月18日と25日に「地域貢献支援員 (スマイルサポーター) 養成研修」を大阪府社会福祉会館で開催。今回は126人が修了し、1月に開催される保育部会新年互礼会で認定証の交付を受けました。これによりスマイルサポーター認定者の累計は府内で706人となりました。

◆11月20日、吹田市の万博記念公園で吹田市制施行70周年記念フェスタが開催され、「吹田の自慢できる」・事業・活動などが紹介されました。

吹田市私立保育園連盟との連携により「保育園における地域貢献事業」のPRパネルを展示 (パネルは地域貢献事業推進委員会作成) し、地域貢献事業の内容やスマイルサポーターの活躍を紹介しました。

パネルは、地域貢献事業のPRとして各地域でも活用ください。お問い合わせは事務局まで。



力いっぱい子どもたちと

大学卒業後、一般企業に就職しましたが、保育士に就いたのは、林 雄二さん。2、3年はたたくさんの失敗や迷いを経験しましたが、主任や園長先生に導かれて困難を乗り越えることができ、5歳児クラスを2度経験することで保育の難しさと奥深さを知ることができました。園長先生からは「男性だから」と一度も言われたことがなく、おかげで素直に自分を伸ばしてこれたように思います。体力・頭ともに目一杯に使わ

林 雄二さん

やればよかっただけ返ってくる

大東わかば保育園



がんばる男性保育士

前号で「男性保育士について」アンケート結果を紹介しましたが、今号では、実際に活躍している男性保育士の思いを聞きました。また、勤務先の園長先生からも一言いただきました。

住吉保育園

大切なことを発見する毎日

松尾 賢さん

人と関わる仕事は、日々学ぶことが多い。新任の頃、自分が子どもたちに何かを与えたり、同じ経験をさせることで育つものだと思うていました。でも、そんな保育で子どもは、楽しく過ごし充実しているのかと考えるようになりました。頭

なければなりません。やればよかっただけ、子どもたちにももちろん、保護者の方からも返ってくる園の雰囲気にも励まされています。これから保育の道を極めたいと思います。

(園長から)

9年目で保育士集団の中心的存在。後輩への指導助言も適切で、今年度から副主任。子ども、保護者から信頼され評判もよく、演技ダンスなどの能力も高く、創造的な保育を展開する力もあります。学習、人との交流で人間を深めることを期待しています。



うまくできたかな？

を柔軟に目線を子どもに合わせて、子どもたちの会話に耳を傾けることで、私が与えるより比べものにならないくらいに発想や関心を持つていることに気付きました。子どもたちが主体的にい

北野田保育園

ありのままの、自分らしい保育

津留 考さん

今年で10年目。仕事の深さと責任の重さが年々身に沁みてきました。

男性の私が保育で一番大切にしていることは子どもへの気持ちの尊重しつつ「ありのままの自分らしい保育」です。それは私の人格や性別、全てを表しているからです。

保育士としてこの場に存在し、子どもたちとともに

ろいろな活動や遊びをする、私自身知らなかったことを発見することができ、保育が何倍も楽しくなりました。

子どもたちと様々な発見をして保育を充実させ、やりがいを感じたいと思っています。

(園長から)

5歳児は毎日けんかの絶えないクラスでしたが、ラグビーを保育に取り入れしました。子どもたちは意欲的に参加し、力を合わせる楽

今を生きています。

自分の保育に対し同僚の女性から「どうでもいいことにこだわって」と言われま

私はしてしまった事実よりも自分で悪いと分かっていたかどうかを重視します。いろいろな細かく言わずとも子ども自身で分かると思う



みんなで仲良く

しさ、大切さを体験し、エネルギーがやる気へと変化していききました。

男性保育士ならではの、文字どおり体当たりの保育と言えるでしょう。



子どもたちに寄りそって

からです。

今後も、子どもと保護者のことを真剣に考え、自分らしく保育を大切にしていきたいです。

(園長から)

男性保育士がいることで保育園の雰囲気が変わります。女性には理解しにくい男の子の気持ちを代弁してくれ、男の子らしさをのびのびと発揮できているように思います。在園児の保護者のもとより、卒園児・保護者が会いにこれら相談があったりと信頼されてお

北大阪

日々のようすを確認し、虐待を早期発見

8月31日、第9回子育て支援研修会がホテルモントレ・ラ・スール大阪で開催されました。虐待により幼い命が失われている現実、

その対応の難しさ・関係機関との連携・通報の重要性などを山本容子氏（大阪府中央子ども家庭センター虐待対応課課長補佐）に講演していただきました。

虐待での傷跡を発見した時の対応や行政への通告、通告後の園での聞き取りなどを映像で見て学びまし



熱心に聞き入る参加者

た。

日々の子どものようすを確認し、虐待を早期発見すること、保護者との会話などから子どものSOSを見

逃さないこと、保護者を理解・援助し、支援の糸口を探っていくこと、地域や市町村の各機関と連携することなどによって、虐待から子どもを守ることを学びました。

核家族や母子家庭などがふえている社会背景があり、また地域の繋がりが希薄なことから異常に気付きながらも通報を躊躇しがちですが、先ず勇気を出して

泉州

気になる子どもへのかかわり方



講演する小野次郎氏

通報することが支援の始まりと捉えることの重要性を確認させられました。保育園という存在が、親も子も認め、優しく受け止める場所であることを再確認できた研修でした。

（第2聖心保育園H・N）

11月6日「気になる子どもへのかかわり方」をテーマに和歌山大学大学院教育学研究科の小野次郎先生が講演してくださいました。

発達障がいと聞くと固いイメージがありますが、先生の体験やユーモアを交えて、とてもわかりやすく頭にすんなり入る内容でした。

「障がいとは個性である」とはよく聞く言葉ですが、「障がいとは理解と支援を必要とする個性である」個性だけで括ってしまうので

はなく、私たち保育者の支援が必要なのだ」と小野先生は話されました。

ただ、障がいの特性に合わせて支援するだけで良いのではありません。障がいの特性を知ることが大切ですが、その特性への対応だけに縛られていては子どもたちは伸びません。同じ障がいでも一人ひとり違うのです。そのことを念頭に置き、柔軟に対応していくことが大切なのだと感じました。

近年、発達障がいは10人に1人いるといわれています。どれだけの保育士がそれに気付き、対応できているでしょうか？

「子どもたちのわがまま、気ままに済ませていませんか？ 叱ってばかりではないですか？」そう問われました。

いけないことをした時は叱り、伝えていくことも保育者の役目ですが、「褒める」ことが大切です。「いいところ探し」をし、たくさん褒めることで子どもたちが自尊心を抱けるになります。

（いぶぎの保育園Y・Y）

旬

今年感動の一番、怒りの一番、一番…

沢庵、門松、もち米の精米、そして天然鯛

は正に将来に禍根を残す。

二番目は大阪府のエレベーター設置条例。議会や福祉部の尽力で、別の対応策があればそれなりの文書が必要であると、当該市の副申があれば設置しなくてよいことになったが、とに

はこのあたりで。

ボチボチこうこ（沢庵）を漬けなあかん、大根は今年も職員の頼まれ分も入れたら250本。糠、粗塩も樽も再度洗って準備!! ツリー、リースも玄関に。日曜は門松の準備に漬れる

（H・N）

師走。今年も残すところ一カ月。マスメディアは今年の種々の話題にナンバー付けて報道。感動の一番はチリの地底からの生還だろう！ 機械の発達で、地底700mから最初の生還に思わず涙。パニックを起こさず、皆を励ましリードしていた人物も大したものだ。報道を見るに、家族との手紙交換、電話で肉声が伝わったことも地底の人たちをより以上に奮起させ、忍耐に繋がったのでしよう。ずっとテレビに映ってた大統領の人氣が急浮上は、愛嬌だが。怒りの一番は尖閣諸島事変の政府対応。「あんたら！ 国売るつもりか？」なまよしてたら、なんぼでも主